

株式会社gumi

2022年4月期
第1四半期決算説明資料

2021年9月

The logo for gumi, featuring the word "gumi" in a bold, lowercase, sans-serif font. A red horizontal line is positioned above the text, starting from the left edge of the page and ending with a small red tick mark that points towards the "i" in "gumi".

目次

■ 決算概要（連結）	02
■ 業績の推移	09
■ パイプライン	14
■ 事業状況	18
・モバイルオンラインゲーム事業	
・新規事業	

決算概要（連結）

Q1は、QonQで減収減益

- ✓ モバイルオンラインゲーム事業は、既存タイトルは堅調に推移も、新規タイトルの配信が延期となったこと等により営業赤字に。Q2以降は、8月に配信を開始した『乃木坂的フラクタル』に加え、複数のオリジナルタイトルの配信により巻き返しを図る
- ✓ 新規事業は、関係会社が保有する暗号資産の一時的な時価下落等^(※)に伴い、Q1に営業外費用約12億円を計上

(百万円)	FY21 Q1実績	FY20 Q4実績	増減 (Q1実績-Q4実績)
売上高	3,650	3,783	△133
営業利益	△596	△340	△256
経常利益	△1,808	3,233	△5,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,593	237	△1,830

(※) VR FUNDは6月末時点の投資先の時価、gumi Cryptosは7月末時点の暗号資産の時価を基準に算出

トピック①：有力IPを活用したゲームタイトルの配信

乃木坂46[公式]プロデュースゲームアプリ『乃木坂的フラクタル』

2021年8月12日に配信開始

- ✓ 配信直後より売上ランキング上位を安定維持する等、好調な立ち上がり
- ✓ 9月より各種キャンペーンに加え、大型プロモーションを実施し、Q2以降の業績貢献を見込む



当社の重要投資先であるdouble jump.tokyo 株式会社が、複数の大手企業からの追加資金調達を実施（2021年9月3日に公表済）

✓ 資金調達先

株式会社バンダイナムコエンターテインメント

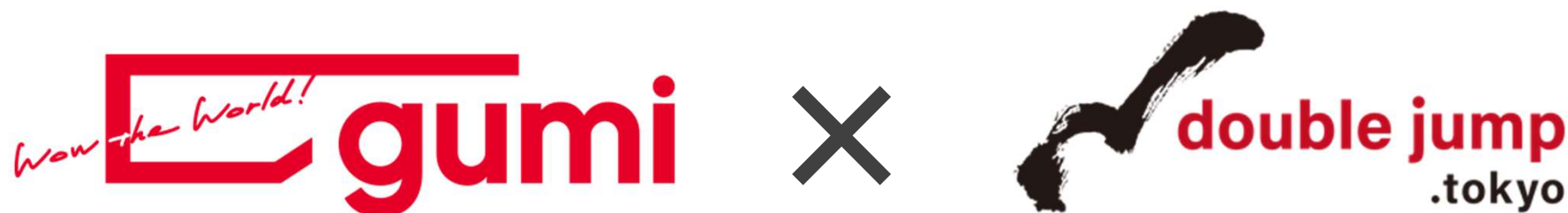
株式会社バンダイナムコライブクリエイティブ

Z Venture Capital株式会社

株式会社bitFlyer Holdings

✓ 9月10日付にて同社の社外取締役役に川本 寛之が就任。引き続き本吉 誠が社外監査役を務める

✓ 今後も、同社との事業連携を強化し、ブロックチェーン技術を活用したNFT等のコンテンツ販売やゲーム開発等に注力し、新規事業領域における収益基盤の構築を図る



新規ファンド『gumi Cryptos Capital Fund II』を組成し、グローバルへの投資を強化

- ✓ 既存ファンドの投資回収が順調に進捗していることから、新規ファンドを組成
- ✓ 当社グループはリミテッド・パートナーとして新規ファンドに15%程度の出資を行うことを想定
- ✓ 今後も、ブロックチェーン領域への積極的な投資を実行し、有力企業との連携強化及び、投資回収を推進

名称	gumi Cryptos Capital Fund II, LP gumi Cryptos Capital Fund II Parallel, LP
ファンド規模	1億米ドル（予定）
投資地域及び投資領域	グローバルを対象としたブロックチェーン領域及び 暗号資産領域

新市場区分において、「プライム市場」を選択することを決定

- ✓ 東証による市場区分の見直しに伴い、2022年4月4日の移行日に所属する新市場区分として、「プライム市場」を選択し、その旨を東証に申請することを決議（2021年8月24日公表済）
- ✓ 今後、東証が定めるスケジュールに基づき、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを行う予定
- ✓ プライム市場の上場維持基準に沿って、一層のガバナンス強化と情報発信の充実を図るとともに、持続的な企業成長とさらなる企業価値の向上に取り組む

昨期に続き、当社グループにおいて新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微

✓ モバイルオンラインゲーム事業

- 足元の業績において、新型コロナウイルスによる影響はなし
- 今後も、業績に与える影響は軽微であると予測

✓ 新規事業

- 足元の業績において、新型コロナウイルスによる大きな影響はなし
- 事態が長期化した場合、投資事業において出資先の資金繰りが悪化する等のリスクが考えられるものの、当該リスクが顕在化した場合も業績への影響は軽微と予測

業績の推移

ハイライト

- ✓ 売上においては、既存タイトルは堅調に推移したものの、QonQでは若干の減収に
- ✓ 営業利益においては、広告宣伝費は減少したものの、主に開発費の増加等に伴い、QonQで減益に

売上高

36.5億円

YonY Δ 31.8% QonQ Δ 3.5%

営業利益

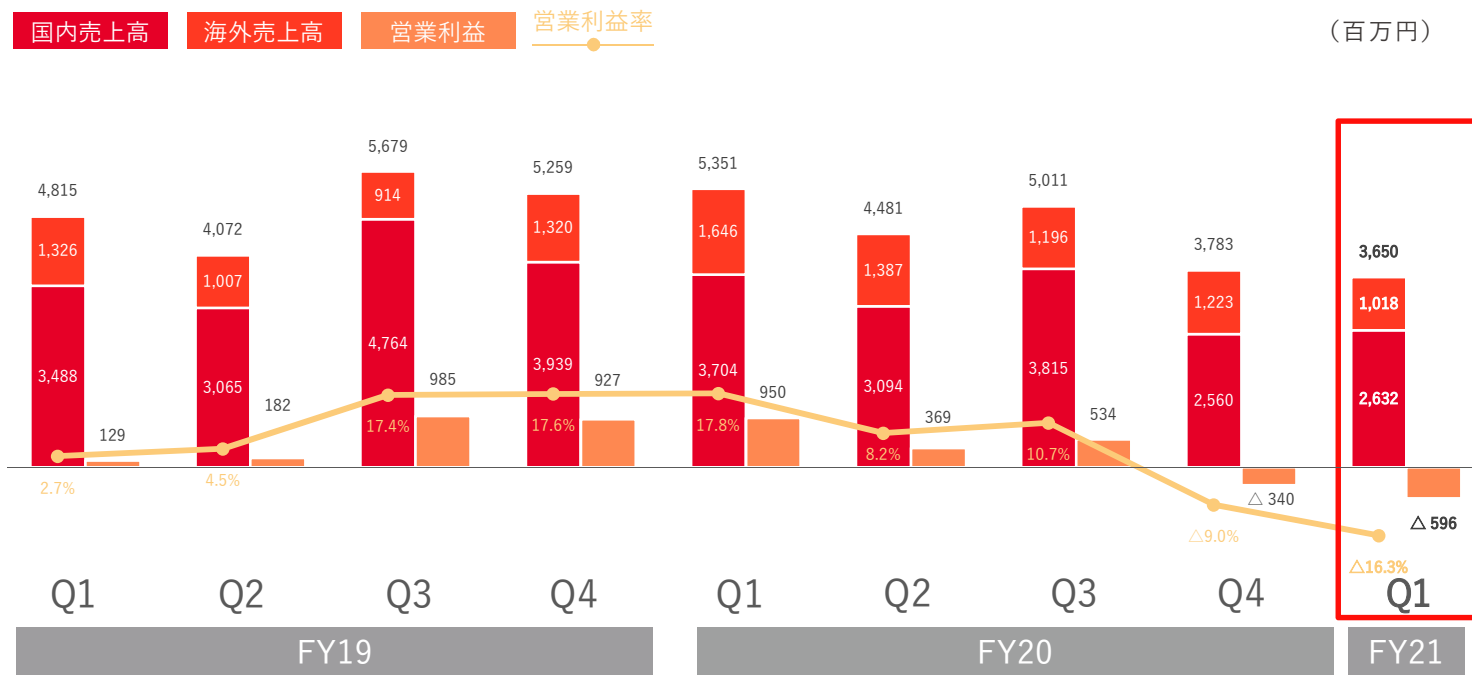
Δ 5.9億円

YonY - QonQ -

海外売上高比率

27.9%

売上高及び営業利益



(百万円)	FY21 Q1	FY20 Q1	前年同期比	FY20 Q4	前四半期比
売上高	3,650	5,351	Δ 31.8%	3,783	Δ 3.5%
売上原価	3,471	3,569	Δ 2.7%	3,210	+8.1%
売上総利益	179	1,781	Δ 90.0%	572	Δ 68.8%
売上総利益率	4.9%	33.3%	-	15.1%	-
販売管理費	775	831	Δ 6.7%	913	Δ 15.1%
営業利益	Δ 596	950	-	Δ 340	-
営業利益率	Δ 16.3%	17.8%	-	Δ 9.0%	-
経常利益	Δ 1,808	1,082	-	3,233	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	Δ 1,593	901	-	237	-

ハイライト

- ✓ 開発費は、複数の大型タイトルの開発継続に伴い、QonQで増加
- ✓ 広告宣伝費は、大型プロモーションの実施がなかったこと等により、QonQで減少

開発費

23.5億円

YonY +12.8% QonQ +6.7%

広告宣伝費

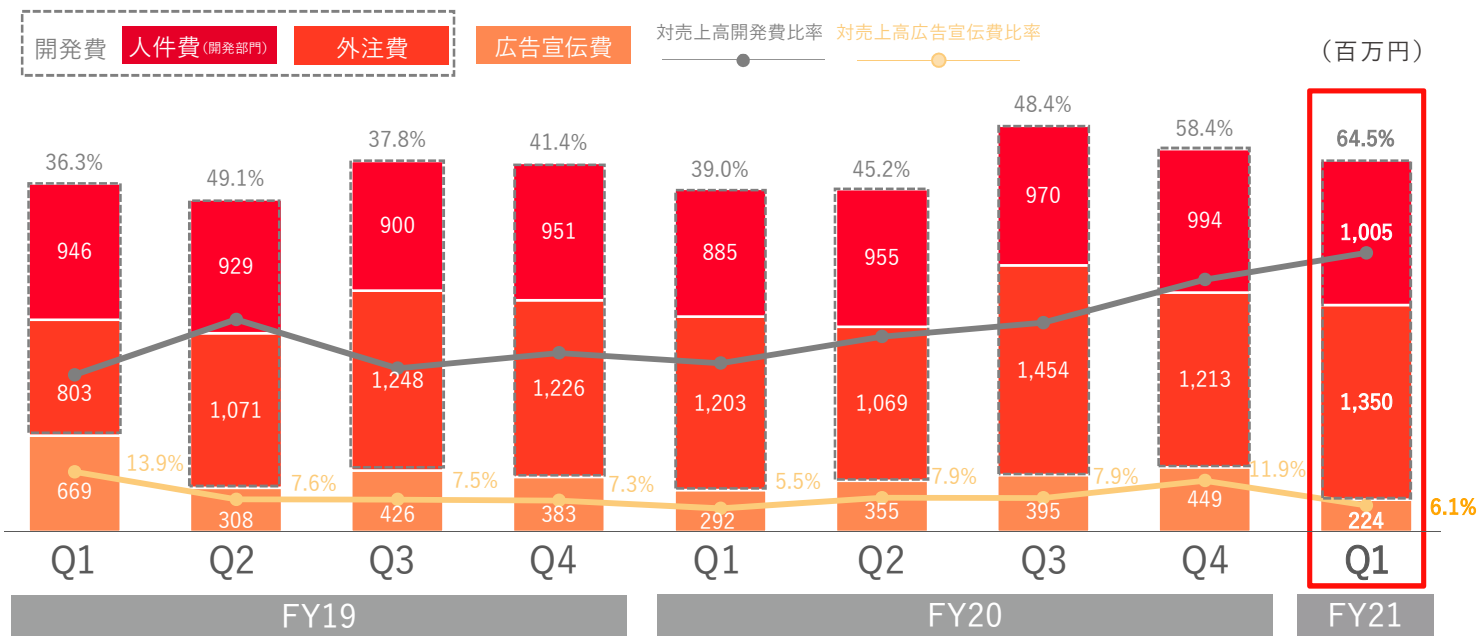
2.2億円

YonY Δ 23.3% QonQ Δ 50.1%

対売上高広告宣伝費比率

6.1%

開発費及び広告宣伝費



(百万円)	FY21 Q1	FY20 Q1	前年同期比	FY20 Q4	前四半期比
売上原価	3,471	3,569	Δ 2.7%	3,210	+8.1%
支払手数料	640	1,101	Δ 41.8%	822	Δ 22.2%
人件費	1,005	885	+13.5%	994	+1.1%
外注費	1,350	1,203	+12.3%	1,213	+11.3%
通信費	446	403	+10.7%	425	+5.0%
その他	28	Δ 23	-	Δ 246	-
販売管理費	775	831	Δ 6.7%	913	Δ 15.1%
広告宣伝費	224	292	Δ 23.3%	449	Δ 50.1%
人件費	256	215	+18.6%	224	+14.0%
その他	295	323	Δ 8.7%	239	+23.4%

ハイライト

- ✓ 現預金は、自己株式の取得や開発投資等によりQonQで減少も、Q2以降の新規借入により財務基盤を強化
- ✓ 純資産比率は、66.0%と健全な水準を維持

現金及び預金

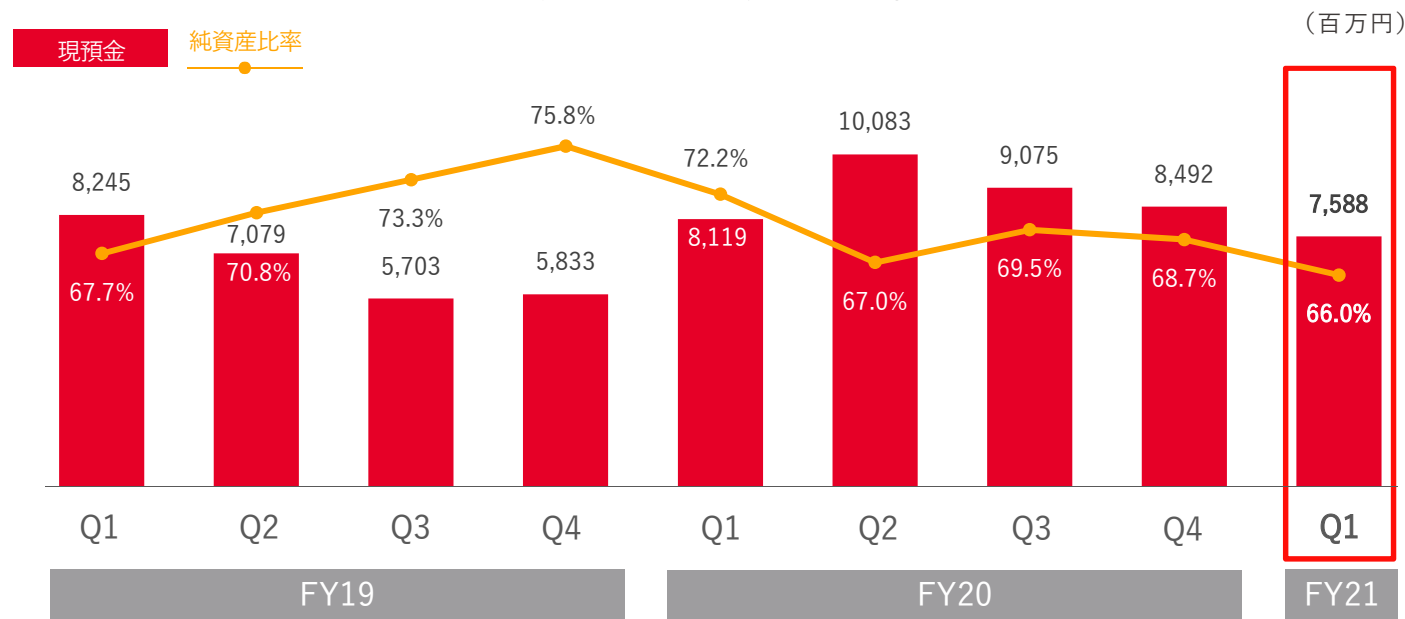
75.8億円

YonY Δ 6.5% QonQ Δ 10.6%

純資産比率

66.0%

現預金及び純資産比率



(百万円)	FY21 Q1	FY20 Q1	前年同期比	FY20 Q4	前四半期比
流動資産	10,579	11,492	Δ 7.9%	13,584	Δ 22.1%
現金及び預金	7,588	8,119	Δ 6.5%	8,492	Δ 10.6%
固定資産	11,085	10,510	+5.5%	11,427	Δ 3.0%
総資産	21,665	22,003	Δ 1.5%	25,012	Δ 13.4%
流動負債	3,784	3,900	Δ 3.0%	4,576	Δ 17.3%
固定負債	3,577	2,224	+60.8%	3,245	+10.2%
純資産	14,304	15,879	Δ 9.9%	17,190	Δ 16.8%

ハイライト

- ✓ 人員数は、QonQで横ばい
- ✓ 人員数は国内、海外ともに適正水準を維持

人員数（連結）

864人

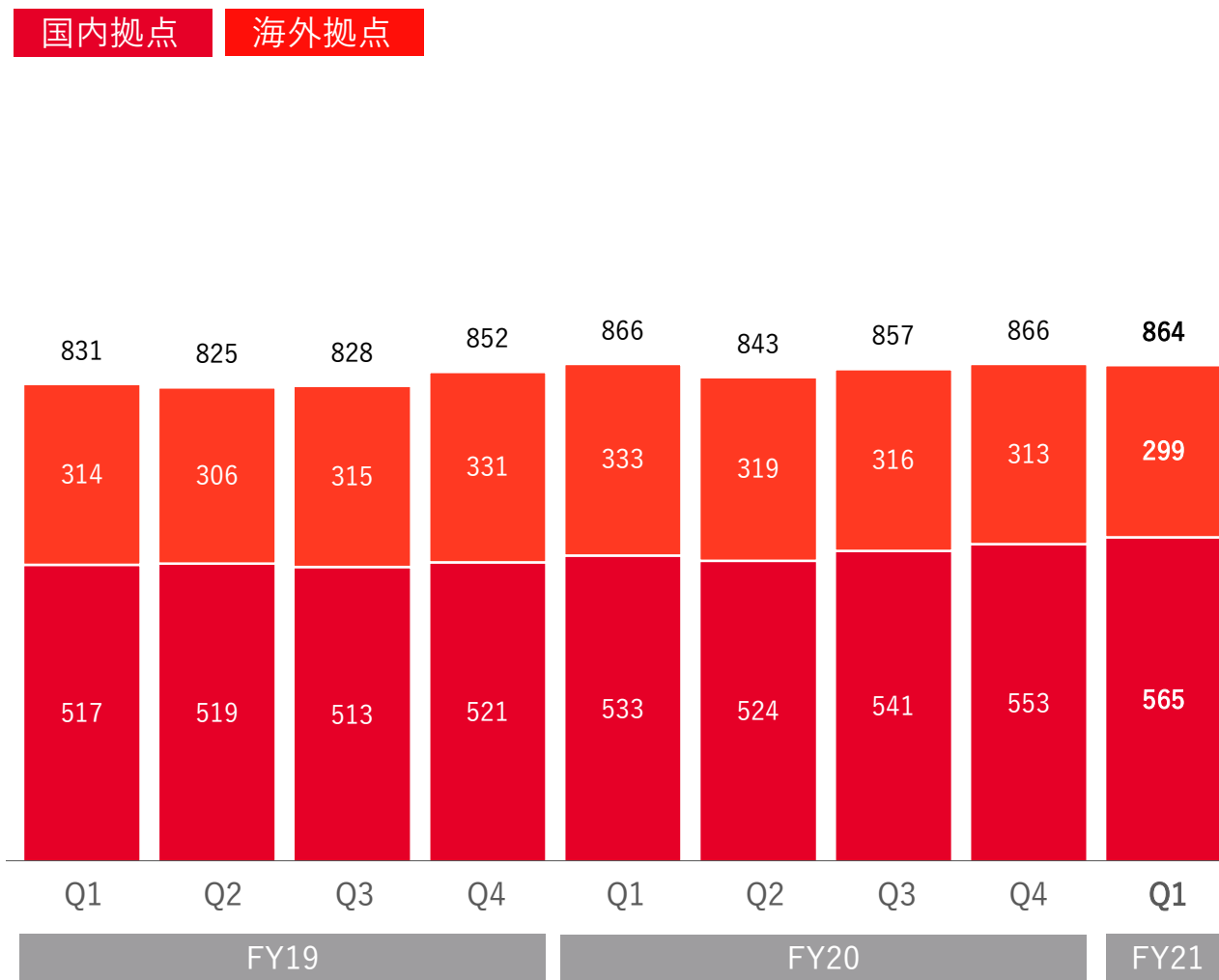
国内人員

565人

海外人員

299人

人員数（連結）



パイプライン

2021年8月に『乃木坂的フラクタル』の配信を開始。
加えて、今秋にオリジナルタイトル2本を配信予定

オリジナル

4本

- ✓ 『ブレフロ』シリーズ最新作『ブレイブフロンティア レゾナ』を開発中。9月配信を予定
- ✓ 『ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫』を開発中。10月配信を予定

他社IP系

1本

- ✓ 『乃木坂的フラクタル』をリリース済
- ✓ その他大型IPを活用したタイトル1本を開発中

開発受託

1本

- ✓ コンソール向けに開発中。今期配信を予定

(※) 一部タイトルにおいて契約締結前のプロジェクトも含むため、リリース本数をコミットするものではありません

『ブレイブ フロンティア レゾナ』

2021年9月15日の配信を予定

ブレフロの“召喚術バトル”を3Dの世界で楽しめる！

召喚師となり数多の英霊たちを喚び出し闘う新作アクションRPG！



新規タイトル：オリジナル

『ラグナドール 妖しき皇帝と終焉の夜叉姫』

2021年10月の配信を予定

- ✓ マルチデバイス対応の協力型オンラインRPG。7月より事前登録を開始し、15万人を突破！
- ✓ 著名アーティストによる書下ろしの新曲や過去の名曲を主題歌や挿入歌として起用
- ✓ 超有名YouTuberとのCMタイアップが決定！
- ✓ ピッコマにて、ゲーム初のコミカライズ配信がスタート



(※) 現在開発中であり、今後配信時期や内容等は変更となる可能性があります

事業状況

モバイルオンラインゲーム事業

FY14
配信



ファンキル

- ✓ 海上編イベントの実施等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移
- ✓ リリース2500日キャンペーンや有力IPとのコラボ実施等を予定



FFBE (※1)

- ✓ 有力IPとのコラボ実施等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移

FY15
配信



タガタメ

- ✓ 有力IPとのコラボ実施等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移
- ✓ 有力IPとの復刻コラボ実施等を予定



クリュニ

- ✓ 施設レベルの上限解放や季節イベント等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移
- ✓ リリース2000日記念キャンペーンの実施等を予定

FY19
配信



FFBE
幻影戦争 (※2)

- ✓ 『ファイナルファンタジー』シリーズタイトルとのコラボ実施等により、ユーザーベース及び売上は好調に推移

FY16
配信



FFBE

海外言語版 (※1)

- ✓ 5周年施策の実施等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移

FY17
配信



タガタメ

海外言語版

- ✓ 有力IPとのコラボ実施等により、ユーザーベース及び売上は堅調に推移
- ✓ 季節イベントの実施等を予定

FY19
配信



FFBE

幻影戦争

海外言語版 (※2)

- ✓ 海外オリジナルユニットの投入等により、ユーザーベース及び売上は好調に推移

新規事業

ブロックチェーン事業において、2021年9月10日付にて新ファンドを組成。
グローバルな有力企業への投資を強化し、将来の収益基盤の構築を図る

XR事業

ブロックチェーン事業

投資領域

- 組成済みファンドからの投資は継続も新規案件への投資は原則行わない方針
- 引き続き既存投資案件の売却等による投資回収を推進

- 保有する暗号資産に関し、短期的には時価変動に伴うリスクがあるものの、中期的には保有資産の価値増大に伴う継続的な投資利益の創出を目指す
- 既存ファンドの成功により回収した資金等を活用し、新規ファンド『gumi Cryptos Capital Fund II』を組成

コンテンツ開発

- 市場の成長に応じて、自社IP等を活用したコンテンツ開発を検討

- 投資先のdouble jump.tokyo株式会社との事業連携を更に強化し、ブロックチェーン技術を活用したNFT等のコンテンツ販売やゲーム開発等に注力



- ✓ VR FUNDの投資先の時価が一時的に下落したこと等により、Q1に持分法による投資損失約5.8億円を計上
- ✓ 上記の持分法による投資損失は、2021年6月末時点において、VR FUNDが保有している投資先の時価を基準に算出

主な投資先



Recroom

バーチャル空間で一緒にゲーム等が可能なB2Cソーシャルプラットフォームの開発。企業評価額が12.5億ドルに達し、VR企業で世界初のユニコーンに



THETA

動画配信を高速かつ低コストで行うことができる分散型ネットワークの開発



Epic Games

全世界で3.5億以上のアカウントを持ち、世界最大級のゲームのひとつである『フォートナイト』の運営及びUnreal Engineの開発



Wave

VR内でミュージックライブ体験ができるマルチプラットフォームの開発

- ✓ 保有している暗号資産の時価が一時的に下落したことに伴い、Q1に暗号資産評価損約6.7億円を計上
- ✓ 上記の暗号資産評価損は、2021年7月末時点において、gumi Cryptosが保有している暗号資産の時価を基準に算出
- ✓ 今後も、継続的に保有する暗号資産の一部売却を行う方針

主な投資先 (※)



1inch Exchange

流動性、価格及び取引コストを全て最適化できる分散型取引所（DEX）アグリゲーターの開発



Idle Finance

アルゴリズムでユーザー資産を自動的に分散型金融（DeFi）プールに分配するリバランスプロトコルの開発



Klaytn

Kakao傘下のグローバルなパブリックブロックチェーンプロジェクト。エンタープライズサービス中心のプラットフォームの開発



Vega Protocol

分散ネットワーク上でデリバティブ取引を可能とするプロトコルの開発



Opensea

世界初で最大のNFTマーケットプレイス。アート、音楽、ゲームアイテム、バーチャルコレクティブル等、様々なNFTを販売



Celsius

コミュニティの総資産が200億ドルを超える、クリプト資産管理Cefiプラットフォームの開発

(※) gumi cryptos及びgumi cryptos capitalからの主な投資先

免責事項

本資料は、株式会社gumi（以下「当社」といいます。）並びにその子会社及び関連会社（以下、当社と併せて「当社グループ」と総称します。）の財務情報、経営情報等の提供を目的としたものです。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報及び当社グループ以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料に含まれる全ての情報は、予告なしに変更される場合があります。

本資料は、当社の有価証券の取得に係る投資勧誘を目的としたものではなく、当社の有価証券への投資判断にあたって必要な全ての情報が含まれているわけではありません。

Wow the World! **gumi**